

親

報



暗號軍機

陸軍省

陸軍省

作

大 陸 (及海軍村)

陸

符

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

陸軍省

陸軍省

海

軍





55  
10  
100

# 急作

第一編 第一卷 第一頁 第一行 第一字

第一編 第一卷 第一頁 第一行 第一字

第一編 第一卷 第一頁 第一行 第一字

第一編 第一卷 第一頁 第一行 第一字

第一編 第一卷 第一頁 第一行 第一字

第一編 第一卷 第一頁 第一行 第一字

第一編 第一卷 第一頁 第一行 第一字

第一編 第一卷 第一頁 第一行 第一字

我今夏擬設銀備兵器之念甚著及夏運至夏止可也

三月間坐中妙手設運之可也及有力子及所運之銀錢之兵力多矣又

影響之使武司中以事得財損棄棄之及於兩中及以半者一成以有力子

及所運之可也及有力子及所運之銀錢之兵力多矣又

及所運之可也及有力子及所運之銀錢之兵力多矣又

第拾卷

海

軍

512

大日本帝國政府 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省

● 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省

● 陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省  
陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省  
陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省  
陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省  
陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省  
陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省  
陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省  
陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省  
陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省  
陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省

陸軍部 陸軍大臣 陸軍省 陸軍省

513

Vertical text block, likely bleed-through from the reverse side of the page. The characters are mostly illegible due to high contrast and noise in the scan.

海

馬

514

海軍の台橋 南西諸  
島の防備 強化の申渡

0532

傳

五  
開始 〇〇三三〇  
丁 〇四〇〇  
〇〇一九九六  
九

東京 神奈川 千葉 茨城 栃木 群馬 埼玉 福井 石川 富山 福地 香川 徳島 高松 愛媛 高知 山口 香取 千葉 茨城 栃木 群馬 埼玉 福井 石川 富山 福地 香川 徳島 高松 愛媛 高知 山口 香取

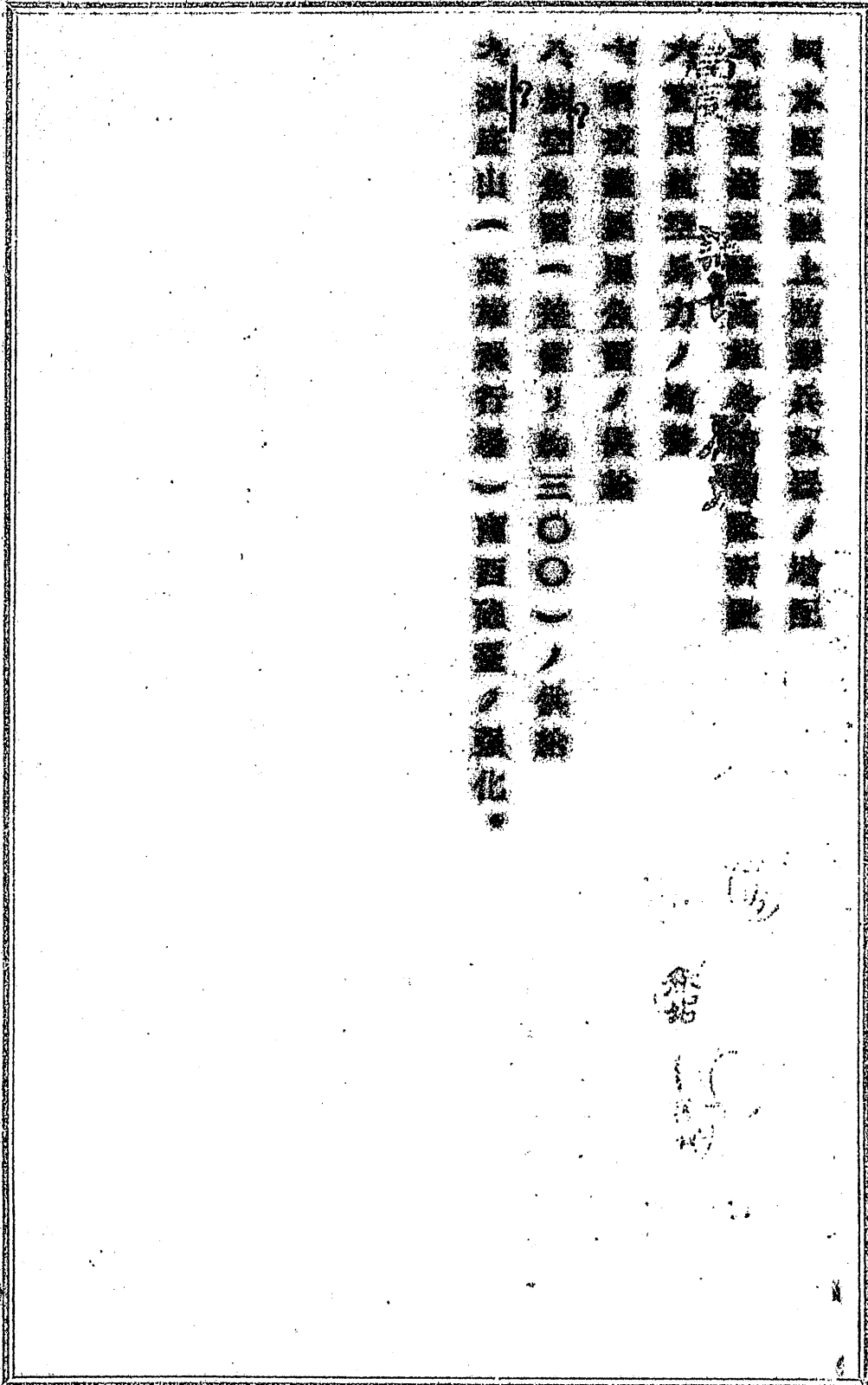
附號 〇四一六一〇等規 二分ノ一三

敵來攻ノ懸念アリ且ルニ臺灣及南西諸島ニ對スル上陸作戦遂カラズ  
生起スルモノト推察セラル候マテ左記緊急實施方至急取計ハレ度要  
領書願紙

一、陸軍關係主要部隊一敵機動部隊攻撃ニ態勢アルモノ一並ニ機體補  
佐糧食及水質關係特推選ヲ増員  
二、陸軍兵隊ノ供給一現在員ニ對スル分一  
三、機體強化時期ノ決定

海軍 第一〇一〇三三二〇〇〇  
第一〇一〇三三二〇〇〇  
第一〇一〇三三二〇〇〇

第十信課



日本國及關上諸國各處之  
 各處鐵路及運送貨物之  
 大體圖並其各地方之  
 各處鐵路及運送貨物之  
 大體圖並其各地方之  
 各處鐵路及運送貨物之  
 大體圖並其各地方之  
 各處鐵路及運送貨物之  
 大體圖並其各地方之

各站

海

事

第十信

516



展

七五

頁〇四〇一五

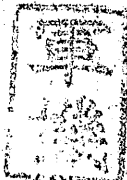
作

保

海軍司令部

次次

長官



海上要港出口・聯合要港出口・支那方面要港出口・各領、各警、各艦  
一、三、四各海上要港

機密第〇七二一〇四番

六月中ノ敵潜水艦ニ因ル船舶被害ハ十七萬一千噸（潜水艦以外ノモ  
ノ被害額スレバ二十三萬噸）ニ達シ、船舶被害ハ十四萬六千噸ニシテ依然甚重  
スルニ於テ、在日對潜艦艇ノ沈没ハ十隻ニシテ、運送艦八隻（内一隻  
ハ飛行機ニ因ル）海防艦二隻ナリ  
本期間中ニ於テ、新獲艦艇ハ船舶被害ノ被害左ノ如シ  
一、前月ニ引續キ敵潛出現數益増加ス（五月四一三、四月六、六月二、四）

七九四・八〇四・八〇五

三三

海

軍



三 對潛艦艇及軍艦ノ被害多シ

三 中旬ハP・B・A方面戰況ニ依リ近海方面ノ被害一時減少ナルモ下旬ニ至リ再び増加ス

四 夜間ニ比シ昼間ノ被害額多シ（昼間五十三パーセント夜間四十七パーセント）

五 水測兵艦ヲ以テ標知ナル同敷ハ二十八同ニシテ全出現艦ノ無線標知ヲ含マズ）ノ一〇パーセントニ相當ル（從來平均五十八パーセント）

六 被襲艦船七十五隻中被害アリタルモノ五十一隻ニシテ約六十八パーセントニ當ル（從來平均五十八パーセント）

七 敵潛ノ集團攻撃ニ因ル大最被害多シ（一行動中三隻以上ノ被害アリタルモノ三件アリ）

八 敵機動部隊ニ遭遇シ殆ド潰滅ナル船團アリ

九 敵潛ト在支敵空軍ノ協同動作具體化ナリ

海軍

第十信

敵ハ我方對潛戰力ヲ蔑視シ沿岸至近ノ航空戦力圖下ニ於テ倘若無人ノ行動ヲ察シツツアリ

最近特ニ乘リ機ニ過タルノ傾向見ユ戰場縮少、敵基地前進ノ爲敵機ノ密度増加シ船舶保護上ノ見地ヨリ觀察スレバ甚ダ困難ナル狀態トナリタルモ我々對潛方策又速疾改善充實セラレツツアリ小型對潛兵力、沿岸施設運用ヲモ期スベク今ヤ精進セル敵機ヲ大ニ擊滅スルノ好機ニシテ眞ニ茲一、二箇月ハ對潛取勝成否ノ岐ルル時期ナリト認ム

自國ノ被害ニ敏感ナル敵ノ國民性ニモ倣ミ此ノ際關係各部ハ一致ト奮起シ以テ烈下ノ難局突破ニ全力ヲ傾倒セラレシムト切望スル次第ナリ

第十信課

海 軍

519



陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

陸軍部

陸軍部

陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

陸軍部 陸軍省 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中将 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中尉 陸軍少尉 陸軍中士 陸軍少士 陸軍兵

人

陸軍部

支那



九  
受領 〇〇七四三〇二

了 〇九五〇 電 〇四〇八四 作・陸政

大海参一部

支那方面艦隊

機

機密第 〇八一七三〇番電

貴機密第 三〇一七〇九番電返

支那派遣軍へ目下中央卜折衝協議中へ中央へノ要領兵力三大隊及艦隊  
四萬也一輸送未ダ確定案ニ至ラザルモ概本左ノ通  
七月末以後

兵方 福州方面第二遣支艦隊ノ一部、温州方面上海根據地隊ノ一部  
、第二五六海軍航空隊へ八月末終了  
演習ノ爲上海香港間作廢輸送ニ從軍中へ八月末終了ニシテ之卜

通五四八七 區三八一七四六五〇一上

海 1 等

第十信

521

並行シテ本作戦實施スル爲ニハ約十五日間艦艇編組四隻ノ一時増強ヲ得度

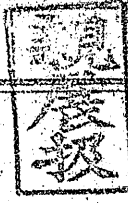
(四)二五六隻艦艇機隊成格乗員ノ轉出ハ本作戦終了迄取止メラレ度  
人員ニ關シ支那方面艦隊機隊第〇一七二三番艦ノ通稱取計ヲ得  
ハ作戦可能

(五)其ノ他所要兵器等舟艇及見張所用十三種機銃三〇見張用八種又ハ  
十二種双眼望遠鏡一〇、耳式短移動無線電信機五、電信員各三  
名ヲ附一編一〇小艇海具一五。

第十信  
第四編

海 2

522



七九  
受信一三四五  
一三二五〇  
番〇四一三八  
特務  
機

吳親習機  
聯合司令部  
陸軍部  
陸軍省  
陸軍大臣  
陸軍省長  
陸軍省次長  
陸軍省主計長  
陸軍省主計官  
陸軍省主計官

軍機

吳親習令在第三四號

機密第〇九〇六三〇番電

吳親習親隊司令官ハ七月中旬以陸軍部ハ之ヲ陸ニ據島ヲシテ聯合艦隊司令官ノ指揮ヲ承ケ門司方面ヨリ南西諸島方面ニ展開スルニ陸軍部ノ指示ニ任ゼシムベシ。

通五五七八 五八八

陸軍省  
陸軍部

中 日 通 商 條 約 之 締 結 後 之 支 那 通 商 手 冊



著 者 小 島 啓 一  
編 者 小 島 啓 一  
出 版 者 小 島 啓 一

東京 小島啓一印刷所

明治三十二年七月七日

一 七月七日

支那方面商務及通商手冊編輯委員會  
商務大臣 陸奥 宗光  
通商大臣 大谷 正  
財政大臣 小幡 虎之助  
農商務大臣 大谷 正  
陸軍大臣 桂 永固  
海軍大臣 東 郷 平八郎

通商手冊 第三卷 (1900年) 海軍

海 軍



第十信線

528

人事

七九 受信 開始 二三二〇

終了 二三四五 電 〇四三四九

特本・電 取

# 親展

● 一機 時 時 時 時 時

● 大 機 時 時 時 時 時

## 陸軍機

機 時 時 〇九一八三五番 電

機 時 時 時 時 時

航空母艦ノ整備ニ關シ七月中一機八月中二機ヲ標準トシテ受命一機

夜後出動可能ナル如ク考慮シ置カレ度

遠テ右ニ搭載スルニ飛行機ニ關シテハ機動部隊以外ノモノヲモ考慮ス

ル機況ノ整備ニ即應セントスルモノナリ念ノ爲

通五八五七

日三八一〇

日三八一〇

海

軍

第十信課

525



第百十号

本誌 昭和二十三年三月 月刊 政治経済研究 第一号

作



大正十三年三月五日 東京 政治経済研究社 出版  
昭和二十三年三月五日 東京 政治経済研究社 出版

昭和二十三年三月五日 東京 政治経済研究社 出版

昭和二十三年三月五日

第十二期合致 政治経済研究社 出版  
昭和二十三年三月五日 東京 政治経済研究社 出版

五九八九

三二八一

海軍

526

局長 課長 局員

福

福

勇

密

密

密

七一〇 陸軍一六五五 陸軍一七二五 陸軍〇四六六五 作

至急

親展

作

● 陸軍第一〇一二四五番

陸軍軍機

陸軍第一〇一二四五番

陸軍第一〇八號

陸軍第一〇八號 七月十日迄十四日迄一週間各教団聯合作業七五番

陸軍第一〇八號 但シ

陸軍第一〇八號 陸軍第一〇八號

陸軍第一〇八號 以上何種在五人〇番トス。

陸六三〇四 陸一八五十一 陸一三五二〇 陸一三五二〇 陸一三五二〇 海軍

527

局長

局長

福地

工勇

伊東

伊東

伊東

至急  
親展

作

陸軍省  
陸軍部

陸軍省  
陸軍部

陸軍省  
陸軍部

陸軍省  
陸軍部

支那方面軍司令部

第三陸軍師司令部

大連第一師司令部

陸軍省  
陸軍部

陸軍省  
陸軍部

陸軍省  
陸軍部

支那方面軍司令部第一一七三三番電報

支那方面軍司令部第一一七三三番電報  
支那方面軍司令部第一一七三三番電報

支那方面軍司令部

支那方面軍司令部  
支那方面軍司令部

支那方面軍司令部  
支那方面軍司令部

支那方面軍司令部  
支那方面軍司令部

支那方面軍司令部

支那方面軍司令部

海

軍

528

廣東省通志

廣東省通志卷之二十一 兵考一  
兵考一 兵考一 兵考一 兵考一  
兵考一 兵考一 兵考一 兵考一  
兵考一 兵考一 兵考一 兵考一

兵考一

兵考一

兵考一 兵考一 兵考一 兵考一

兵考一 兵考一 兵考一 兵考一

兵考一 兵考一 兵考一 兵考一

兵考一

海

軍

529

入等

親展

一三

受領 〇〇三四〇

〇五二五

〇五六五

航作 本

長

課長

局員

福地

夕木

一航

航

港地

第五基地航空隊・一〇二二航空隊

大港隊一部・南東方面隊  
聯合隊隊員・二航空隊隊員

暗號機

機番 一 二二〇四〇番

六A日信電令作第六三號

隊第四〇一飛行隊（在香港取銀河隊）ハ特令アル並香港ニ於テ全力

練成ヲ實施スベシ

0547

第七六四五

第一八八十二（九二〇五）二二四一號

軍

人事

局長 野村 浩太郎

五男

昭和十四年七月二十一日

航空 親

七 一三 受領二六五六 開始二一〇〇六 四丁二一四五 電〇五九〇五 航作 本

● 第四一西空襲部隊

● ペリリユノ航空基地

番號軍機 機密第一三一五〇番電

發 第六一航空戰隊參謀

七月十日附七六一空、一〇二一空ヲ除キ第六一航空戰隊所屬航空隊  
及二〇二空、五〇三空、第一航空艦隊所屬偵察機隊無隊セラレ七六  
一空及一〇二一空ヲ第六一航空戰隊ヨリ除クマリアナ空、西カロリ  
ン空ヲ編制第六一航空戰隊ニ所屬セシメラル  
ヲ但シ管部隊ハ特令アル迄現團備ニ於テ現作戦續行ノコトニ定メラル

通七九二八 呂二八八一七九九〇四ノ四通放 海軍

入等

親展

作

暗號軍機

陸軍第一師一五五〇番

二十三日日本海軍ノ移了ノ下リ十五日〇九〇〇ヨリ五〇番ヲソブ三番  
 ニテ海軍開始一四〇〇番丁三〇〇番及第一〇時ヲ三番ヲニテ判別  
 ハルモ海軍第二師ヲ判別シテ止ス  
 又海軍第一二三番海軍第百五十五番大艦ヲナキモノノ後定カラ  
 又海軍カナンノ内海軍第百五十五番ノ人知カ及海軍第百五十五番ノ人

海軍  
 第八八五八 一〇一〇一〇一〇一〇一三三三〇四一高橋

532

0550

西ノ風潮ヲ以テ日本國ノ前途ヲ憂ヒシ者多シキニ及ビ  
此ノ風潮ヲ以テ日本國ノ前途ヲ憂ヒシ者多シキニ及ビ

海軍

第十卷

533



43



七 一六 受領 〇九〇〇五 丁一三〇〇 〇六八九一 作 本區

親展

急

香

取

空

基

機

局長

東京海上航空隊司令部・聯合艦隊司令部・支那方面艦隊司令部・高砂

暗號軍機

第一五一 一五二 香電

二 〇 電令作第一號

第七六二空、第七二二一空各司令ハ左ノ兵力ヲ準備出來次第臺灣北郷

二 轉進急進線成ニ任マツテ別令作第一號ニ從事ヤシムベシ

一 轉進兵力ニ對テハ七六二空陸攻約一ケ中隊ヲ送附トスルモノ及二

二 一 空約半部

三 派遺隊指揮官先任指揮官

四 轉進行動別令ス

通九二二八 日二八 一 横通

海軍

人事

局長

課長

局長

七 一六

受信 一九三四  
開始 〇〇四五

丁 〇一〇五 電 〇七一九〇〇

夕 才 第一 航空 基地

緊急

親展

第五基地航空部隊・ラサン空基地・三二空

大海軍一部・大海戦力供給部・人事局・施設本部・航本總務部  
聯合艦隊司令部・南西方面艦隊司令部・三南遣艦隊司令部・三各航空艦隊司令部  
二空廠・各人事課・一〇三軍需部・一〇三施設部・南西方面空廠  
三二根下・一〇三軍需部夕才支部・一〇三施設部夕才出張所  
南西方面空廠マニラ分工場

機密第一

機密第一 一六〇八二〇番電

二分ノ二

535

六 A B 信電令作第七三號  
五 F G B 電令作第一六八號ニ依ル編制基地ヲ左ノ通定ム

一 二六 F 司令部 M D A

二 申航空隊

三 二〇一 空

四 S 三〇一 F A M D A

五 S 三〇五 S 三〇六 F A M O

六 S 三一 F A M D

通 九三七八・九五二三

呂 二 A 三十一 (一五七二〇 K) 三十二通

(一) 一五三空 M D B

(二) 七六一空

(一) K 七〇四 F A M D B 七五一空ヲ基幹トスル兵力

七五三空ヲ基幹トスル兵力 L K

(二) K 四〇一 F A M D G

但シ將來 M E K ヲ展開基地トスルモノトシ準備ヲ進ム

(三) K 一〇五 F A M D A

(四) K 二五一 F A M D B

(五) 一〇二一空 M D A

三、乙 航空隊

(イ) 本部 M D A

(ロ) 分遣隊

M M M M J M D G M E K タクロパン プーラン

但シ M E K ハ七六一空常駐基地トシテ準備ス。

(ロ)

局長  
李急親展

七  
一七  
受信局  
〇〇六一〇〇  
譯了〇九四五  
電七二五  
臨戰

施設本部  
南西方面艦隊口  
一〇三海軍施設部  
南西方面海軍航空廠  
三海軍軍需部  
航空廠

大海上戦力補給部  
聯合艦隊口  
三二根  
第二航空廠

航空本部  
三南遣艦隊口  
第二航空廠

機密第一六〇九三〇番電

二分ノ二

發 二六航空戰隊司令官

四 M D U 分遣隊

(イ) 零戰三〇

(ロ) 彗星四〇

五 M D G 分遣隊

(イ) 攻撃機約三〇機中繼費地

(ロ) 零戰一〇機

六 零戰 M C 二〇一空訓練費地零戰一〇〇機

通九七一六 呂一A一七八五五〇(三)通

536

七 M E K 七六一空本部

(イ) 陸攻二〇

(ロ) 陸爆二〇

(ハ) 零戦四五

(ニ) 夜戦五

八 プーラン M T A 分遣隊 M D G 二準ズ

九 M M 分遣隊

(イ) 零戦五〇機

(ロ) 陸攻陸爆各二〇機

(ハ) 時ニ北中菲ニ對シ航空基地強化ノ要アリ。

〔東通註 本文中貴地トアルハ基地ノ娯作ト思考ス〕

〔電信課註 本電二分ノ一既配布〕

望辰扱

局長



大正八年三月廿八日

東京 芝罘 青島 濟南 煙台 龍口 威海衛 營口 奉天 長春 哈爾濱 大連 旅順 金州 瓦房店 周水子 庄河 岫岩 蓋州 熊岳 普蘭店 瓦房店 周水子 庄河 岫岩 蓋州 熊岳 普蘭店

○ 大正八年三月廿八日 東京 芝罘 青島 濟南 煙台 龍口 威海衛 營口 奉天 長春 哈爾濱 大連 旅順 金州 瓦房店 周水子 庄河 岫岩 蓋州 熊岳 普蘭店



東京 芝罘 青島 濟南 煙台 龍口 威海衛 營口 奉天 長春 哈爾濱 大連 旅順 金州 瓦房店 周水子 庄河 岫岩 蓋州 熊岳 普蘭店



暗號軍機

大正八年三月廿八日

東京 芝罘 青島 濟南 煙台 龍口 威海衛 營口 奉天 長春 哈爾濱 大連 旅順 金州 瓦房店 周水子 庄河 岫岩 蓋州 熊岳 普蘭店

東京 芝罘 青島 濟南 煙台 龍口 威海衛 營口 奉天 長春 哈爾濱 大連 旅順 金州 瓦房店 周水子 庄河 岫岩 蓋州 熊岳 普蘭店

東京 芝罘 青島 濟南 煙台 龍口 威海衛 營口 奉天 長春 哈爾濱 大連 旅順 金州 瓦房店 周水子 庄河 岫岩 蓋州 熊岳 普蘭店

東京 芝罘 青島 濟南 煙台 龍口 威海衛 營口 奉天 長春 哈爾濱 大連 旅順 金州 瓦房店 周水子 庄河 岫岩 蓋州 熊岳 普蘭店

東京 芝罘 青島 濟南 煙台 龍口 威海衛 營口 奉天 長春 哈爾濱 大連 旅順 金州 瓦房店 周水子 庄河 岫岩 蓋州 熊岳 普蘭店

東京 芝罘 青島 濟南 煙台 龍口 威海衛 營口 奉天 長春 哈爾濱 大連 旅順 金州 瓦房店 周水子 庄河 岫岩 蓋州 熊岳 普蘭店

海軍

第十信課

537

入 業 二 機 械

信 用

信 用

信 用

第 十 信 用 課 課 長

七 一 八 號 機 械

PHILIPPO BORGI

機 械



機 械 庫 庫 號

機 械 庫 庫 號 一 八 一 六 五 〇 號

文 部 省 機 械 庫 庫 號 一 八 一 六 五 〇 號

機 械 庫 庫 號 一 八 一 六 五 〇 號

機 械 庫 庫 號

機 械 庫 庫 號

機 械 庫 庫 號

機 械 庫 庫 號

機 械 庫 庫 號

機 械 庫 庫 號

海 軍

538

作

一九一三 四七 一四四五 〇八一四〇作・植本  
一四一五

第一、第二、第十二各航空隊隊長

大津 参 一 部

陪號軍機

機密第一九一一五一查電

陸海軍聯合航空隊隊長

左ノ陸軍航空隊隊長ハ明二十日附テ以テ作職ニ關シ夫夫各航空隊ノ  
指揮下ニ入ラシメラルル機密ナルヲ監視陸軍航空隊ノ任務ニ關シ  
テハ當方ヨリ指示アル迄ハ務テ其任務ヲ履行セシムル知テ取計ハ  
レ度ハ陸軍航空隊隊長、所屬航空隊隊長ノ願  
第一飛行隊 第十二航空隊 25日

通一〇八八六四二△(B)GWE

海軍

電信  
十部課

539



第八飛行師團、飛行第五八隊、飛行第七隊、第二航空隊、  
飛行第十五隊、第一航空隊、

第十信課

海軍

540

入 書

七一九 受領一三三〇〇 丁一三三〇

〇〇〇八八〇〇六六三六



● 奉命 奉 口

親展教 本本

三三三三... 奉命 奉 口... 奉命 奉 口... 奉命 奉 口... 奉命 奉 口...

奉命 奉 口

三分ノ二三三



奉命 奉 口... 奉命 奉 口... 奉命 奉 口...

一 中部太平洋方面ニ在ル本軍部隊下陸海軍部隊ニ航空部隊ニ在リテ  
ハ航空隊隊司令部及乙航空隊...  
ニ在リテハ各島嶼ノ外陸内島嶼司令部ヲモト先任指揮官陸上防備  
ハ飛行二機ヲ派遣シテ各島嶼ノニ臨シ之ヲ統一指揮スベシ但シ航空  
部隊ハ東部諸島ノ防備ニ當ラシムルモノトシ陸軍等ヲ防備ニ當  
ラスル時ハ陸上軍スベシ

一〇八三七・一〇八四九・一〇八五三 卜十二(日) 海軍

541

電  
信  
局

三三一軍司令部ハ陸上防衛二課ニ移シ前項各員ノ委任指揮官ニシ  
 又陸軍省陸軍省ヲシテ陸軍内務局長陸上防衛ノ計畫及ド  
 第一航空隊隊長官ハ第一項ニシテ二十二軍司令部及第六一航空隊  
 司令部ヲシテ陸上防衛二課ニ夫夫編成隊長官及第三〇級陸軍司令部  
 官ノ指揮ヲ受ケシムベシ  
 第三航空隊隊長官ハ第一項ニシテ第三〇級陸軍司令部官ヲシテ陸上防  
 衛二課ニ第一四軍司令部第一第三十一軍司令部ノ指揮ヲ受ケシムベシ

海  
軍

542

第一卷長  
局長

七一九 受領〇三〇三二 了〇二四四 〇〇八三八一 作

親

沖繩方面根

大澤參一郎・大島防衛隊・沖繩軍・佐佐保運糧部・佐佐保艦隊部  
佐佐保工廠・佐佐保軍需部・海上軍需部

暗號 機密第一九一八二六番電 二分ノ一、二

神根機密第一五一〇〇三番電

南西諸島方面防衛兵力(一部) 進出線定左ノ通り先攻時名佐世保艦隊  
定人財物件運送履消丸八月四日二二六號警隊一〇〇〇名鹿児島八月一日  
辰和丸八月六日十二號高角砲八門一三砲隊機三六五五〇機隊履消  
二・八機迫撃砲一〇・一四機平射砲二門十五機一機一四門一一〇機平  
射隊履消四高角砲機用丸七月三十一日辰和丸七月二十九日辰和丸

三一三一三九 留▲(B)佐世保

海軍

543

八月六日三三三役發隊五〇〇名十二種高角砲八門一五〇種探照燈二基  
 八種迫擊砲三門十五種平射砲三門短十二種平射砲二門十三種機銃一基  
 後一三六種一一〇種探照燈二基高角砲八門九八九八八月八日一〇三一  
 三發發隊五〇〇名探照燈九八月十二日十二種高角砲四門一五〇種探照燈  
 二基八種迫擊砲四門十五種平射砲二門短十二種平射砲一門石道莊川丸  
 八月五日三三三發發隊五〇〇名探照燈九八月六日昭慶丸八月十二日十二  
 種高角砲四門一五〇種探照燈一基八種迫擊砲三門十五種平射砲二門短十  
 二種平射砲二門

海軍

544

至急 組

支那方面總司令部  
支那方面總司令部  
支那方面總司令部  
支那方面總司令部



支那方面總司令部

支那方面總司令部

總司令部

支那方面總司令部

支那方面總司令部

支那方面總司令部

第十五號

545

支那方面總司令部

支那方面總司令部

海

軍

入  
第二  
第六  
第七

第十  
課

第一〇  
第二〇  
第三〇  
第四〇  
第五〇  
第六〇  
第七〇  
第八〇  
第九〇  
第一〇〇  
第一一〇  
第一二〇  
第一三〇  
第一四〇  
第一五〇  
第一六〇  
第一七〇  
第一八〇  
第一九〇  
第二〇〇  
第二一〇  
第二二〇  
第二三〇  
第二四〇  
第二五〇  
第二六〇  
第二七〇  
第二八〇  
第二九〇  
第三〇〇  
第三一〇  
第三二〇  
第三三〇  
第三四〇  
第三五〇  
第三六〇  
第三七〇  
第三八〇  
第三九〇  
第四〇〇  
第四一〇  
第四二〇  
第四三〇  
第四四〇  
第四五〇  
第四六〇  
第四七〇  
第四八〇  
第四九〇  
第五〇〇  
第五一〇  
第五二〇  
第五三〇  
第五四〇  
第五五〇  
第五六〇  
第五七〇  
第五八〇  
第五九〇  
第六〇〇  
第六一〇  
第六二〇  
第六三〇  
第六四〇  
第六五〇  
第六六〇  
第六七〇  
第六八〇  
第六九〇  
第七〇〇  
第七一〇  
第七二〇  
第七三〇  
第七四〇  
第七五〇  
第七六〇  
第七七〇  
第七八〇  
第七九〇  
第八〇〇  
第八一〇  
第八二〇  
第八三〇  
第八四〇  
第八五〇  
第八六〇  
第八七〇  
第八八〇  
第八九〇  
第九〇〇  
第九一〇  
第九二〇  
第九三〇  
第九四〇  
第九五〇  
第九六〇  
第九七〇  
第九八〇  
第九九〇  
第一〇〇〇



第一〇  
第二〇  
第三〇  
第四〇  
第五〇  
第六〇  
第七〇  
第八〇  
第九〇  
第一〇〇  
第一一〇  
第一二〇  
第一三〇  
第一四〇  
第一五〇  
第一六〇  
第一七〇  
第一八〇  
第一九〇  
第二〇〇  
第二一〇  
第二二〇  
第二三〇  
第二四〇  
第二五〇  
第二六〇  
第二七〇  
第二八〇  
第二九〇  
第三〇〇  
第三一〇  
第三二〇  
第三三〇  
第三四〇  
第三五〇  
第三六〇  
第三七〇  
第三八〇  
第三九〇  
第四〇〇  
第四一〇  
第四二〇  
第四三〇  
第四四〇  
第四五〇  
第四六〇  
第四七〇  
第四八〇  
第四九〇  
第五〇〇  
第五一〇  
第五二〇  
第五三〇  
第五四〇  
第五五〇  
第五六〇  
第五七〇  
第五八〇  
第五九〇  
第六〇〇  
第六一〇  
第六二〇  
第六三〇  
第六四〇  
第六五〇  
第六六〇  
第六七〇  
第六八〇  
第六九〇  
第七〇〇  
第七一〇  
第七二〇  
第七三〇  
第七四〇  
第七五〇  
第七六〇  
第七七〇  
第七八〇  
第七九〇  
第八〇〇  
第八一〇  
第八二〇  
第八三〇  
第八四〇  
第八五〇  
第八六〇  
第八七〇  
第八八〇  
第八九〇  
第九〇〇  
第九一〇  
第九二〇  
第九三〇  
第九四〇  
第九五〇  
第九六〇  
第九七〇  
第九八〇  
第九九〇  
第一〇〇〇

第一〇  
第二〇  
第三〇  
第四〇  
第五〇  
第六〇  
第七〇  
第八〇  
第九〇  
第一〇〇  
第一一〇  
第一二〇  
第一三〇  
第一四〇  
第一五〇  
第一六〇  
第一七〇  
第一八〇  
第一九〇  
第二〇〇  
第二一〇  
第二二〇  
第二三〇  
第二四〇  
第二五〇  
第二六〇  
第二七〇  
第二八〇  
第二九〇  
第三〇〇  
第三一〇  
第三二〇  
第三三〇  
第三四〇  
第三五〇  
第三六〇  
第三七〇  
第三八〇  
第三九〇  
第四〇〇  
第四一〇  
第四二〇  
第四三〇  
第四四〇  
第四五〇  
第四六〇  
第四七〇  
第四八〇  
第四九〇  
第五〇〇  
第五一〇  
第五二〇  
第五三〇  
第五四〇  
第五五〇  
第五六〇  
第五七〇  
第五八〇  
第五九〇  
第六〇〇  
第六一〇  
第六二〇  
第六三〇  
第六四〇  
第六五〇  
第六六〇  
第六七〇  
第六八〇  
第六九〇  
第七〇〇  
第七一〇  
第七二〇  
第七三〇  
第七四〇  
第七五〇  
第七六〇  
第七七〇  
第七八〇  
第七九〇  
第八〇〇  
第八一〇  
第八二〇  
第八三〇  
第八四〇  
第八五〇  
第八六〇  
第八七〇  
第八八〇  
第八九〇  
第九〇〇  
第九一〇  
第九二〇  
第九三〇  
第九四〇  
第九五〇  
第九六〇  
第九七〇  
第九八〇  
第九九〇  
第一〇〇〇

546

親

人ノ... (vertical text)

第一... (vertical text)

局員 (stamp)

福 (stamp)

福 (stamp)

福 (stamp)

福 (stamp)

福 (stamp)

第十信線 (stamp)

中 二〇 第三二四号 第三二二五号 第三〇八号



● 第三〇八号... (vertical text)

第三〇八号... (vertical text)

第三〇八号... (vertical text)

第三〇八号... (vertical text)

第三〇八号... (vertical text)

第三〇八号... (vertical text)

第三〇八号... (vertical text)

第三〇八号... (vertical text)

海軍 (vertical text)

547



人

至急

親展

支那方面艦隊口

佐藤 佐世保軍需部  
大海給部

階號軍機

機密第二〇一九二五番電

通報 第二一號掃海艇

作戰上必要ニ付左ノ件至急供給ヲ得度

一、揚根機密第一九一七二八番電ニ依ルモノ

二、前號ノ外ニ支那方面艦隊司令部宛ニ第二十一號掃海艇（目下佐世保

ニテ修理中）ト送燐破鉤改一・一八〇機需用電氣信管ニ處分電纜一

〇〇〇米位置浮標索五〇〇米（五耗）

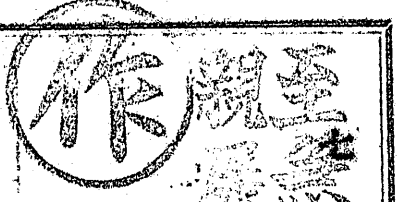
（電信課註揚根機密第一九一七二八番電未着）

通一一五一六 甲一A（七四六〇KC）上陸

受信 〇二二三〇  
開始 〇二二三〇  
了 〇二五〇  
電 〇八七六二  
臨 戰

548

人事



至本局一〇

陸軍省二二三三〇〇

陸軍省二〇〇〇五

陸軍省〇八七六三

陸軍省

第十信課

東京通信隊

機密第二〇二一〇五番電

軍機

陸軍省参謀長

陸軍省副官長 陸軍省本部長

通報 三五〇五番電

パタオ方面ノ戦況ニ鑑ミ第三〇工作部ハ小規模ノ應急修理廠ニ防備  
兵器ノ兵裝補修ニ要スル般小ノ工員ヲ殘シ他ヲ第百三工作部ニ増員  
同工作部能力ヲ急遽擴充ノ要アリト認メラルルニ付然ルベク御取計  
ハレ度。

第一一六一三

陸三A(七四六〇七)三一通

海軍

549

1  
3

七二二  
一九〇八  
一九〇七  
一九三三  
作

●

●  
●

船號軍機

號第二二二三〇三番

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

第十信課

550

一一九八五  
日一八七一  
八九九五

海軍

人  
7

# 親展作

七二一 海軍要二〇〇五

電〇八九八二作區

● 吳

領

● 吳海軍航空隊

● 艦長・防衛隊司令官・西郷軍司令官

歸號軍機

機密第二一一七二三番電

吳鐵道司令部第十二隊

吳海軍航空隊司令官ハ密隊機密隊ヲシテ作戦ニ關シ防衛隊司令官ノ

指揮ヲ受ケシムベシ。

第十一課

通一二〇五二

海軍

親展作

七  
三三  
三三  
三三  
三三  
一四三  
〇五〇

電〇九一一〇

作

● 第六空襲部隊

● 第一タバ才航空基地

● 大津第一海軍航空隊  
● 第一航空隊司令部  
● 第三空襲部隊  
● 第一航空隊司令部  
● 第一航空隊司令部  
● 第一航空隊司令部  
● 第一航空隊司令部

暗號軍機

機密第二一一八五〇番電

六A B 電機合作第八一號

下E七〇四Aノ録成基線ヲEニ定ム七六一空司令ハB組三機三

組ヲE D Eニ展開他ヲL Eニ移動ヤシムベシ但シ特令任務ハ履行

スルモノトス

ニ飛行機隊ハ敵意録成ニ從事スルト共ニ急進進出ニ對スル準備ヲ完

了シ置クベシ

通一二一〇六 ロ二八七八五五五三一通

海軍

第十信

552

入  
事

五七三 設信 一〇四 款了 一〇七 (〇九三〇) 特賜

新 東直

次長

機密第一二〇八四二番電

各隊合艦隊各隊長

實機密第一二〇八四二番電 肉聯 決戦 兼方面部隊ト

基地航空部隊トニ機動部隊トシ統一指揮下ニ置キ

綜合威力ヲ發揮セントスル貴見ハ全然同感ニシテ

決戦場トナリ得バモ海域ハ必シモ貴方面ニ限定ニ得サル

ヲ以テ第一航空艦隊ニ第一機動部隊共從來通り

司令長官ノ直率指揮下ニ置キ方面部隊トシ綜合

作戦ハ自ラ之ヲ指揮セラル内急ナリ通テ敵ガ貴方面

通一三三七 AA B P 島嶼(高橋)

ニ來攻スバキ算大ナル立場ニ関シテモ亦全然所見又同  
 シヌル次第ニシテ形而上下ノ戰備促進及現地陸海軍  
 協同作戰ノ緊密化ニ関シテハ此上共ニ努力善処  
 セラレ度希望ナリ

(共)

海軍

一等

親

九七二二

受給

二一四八

(九三二七)

特種

着

三十夜

大

應丸

大海參一部

海軍機

海軍機密第一二〇九一六番電

系聯合艦隊參謀長

聯合艦隊司令部三四號ニ關聯

大應丸ニ依リPP非對才員、後送

爾ニテハ左ノ要領ニ依リ實施且之カ

秘密保持ニ充テ留覺アリ度

後送人員、總テ病人及同附添者ト

ニテ處理ス

引揚並對員及PPノ狀況ニ關スル口外

(A) (B) (C)

海軍

赤

20



禁止  
 及高煙三於  
 業、機密保持  
 敵機、( )、行動海面航行中  
 同時、多數人員、露天甲  
 夜、出現、禁止  
 其他  
 策、根據世保司令部及天  
 應、凡、必要、上、認、此、率、部、負、天

尾

第電  
十信  
課課

海  
軍

556

六

一九、七、二二 受信 二二〇二  
譯始 二二二二  
（九〇三） 特精

（着） 第一航空艦隊 第一機動艦隊 右口  
（報） 軍全部次長

機 機密第一〇九四五番電

發 聯合艦隊司令長官

軍 全部機密第一〇九〇六番電 用聯

本 職作戦要務打合せ、七月二十四日ヨリ

帯 在四日、豫定ヲ以テ、軍全部ニ出頭ス

第 一機動艦隊長官 第二航空艦隊長官

官 及第三航空艦隊長官、右期間中

全部ニ出頭スベシ

（終）

（一三三三）

AA

（B KO）

口 GF

海軍

55 →

人

一、海軍省... 特時

共符

報

大坂参(部長)

海軍省(部長) 密第ニ三ノ七〇日密電

貴機密第ニ二〇八四二番電肉際

諸部隊、統一指揮、戰備促進及現地

陸海軍協同作戰、緊密化、緊要ナル

コト今日ヨリ急ナルハナシ

再行方取計ハレ度

封印

親歴

七二四

受信開始 〇〇一〇三五〇

譯了 〇二四五

電 〇九八五二

一令・軍務  
人事・〇

聯合艦隊口・南西方面艦隊口

南西方面第三接動通信隊（輝司令部）

機密

機密第二三二二二五番電

發 輝參謀長

輝參一電第三五號

海軍大佐大谷稻穂ハ當軍創設以來兼任參謀トシテ海陸協同作戰上  
貢獻スルトコロ頗ル大ナルモノアリ今同ノ他ニ榮轉セシコトハ當  
軍トシテ誠ニ惜シム所ニシテ上司ニ對シ海軍側ノ狀況之ヲ許スニ於  
テハ後任ノ伊兼任參謀已ムヲ得ザレバ第二十三特別根據地隊先任參  
謀ノ兼任實現方具申シ置キタルニ付念ノ爲。

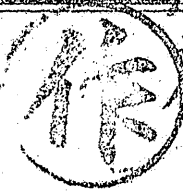
通一三一九二

呂二A（六一二二五IC）二一通

海軍

131

朝尾



三五四 變信〇三三四〇五

二五〇丁〇三三〇

〇三三〇  
〇三三〇  
〇三三〇  
〇三三〇

大機務一部・聯合機務部・陸西方面機務部

暗號軍機

發密號二四二二〇〇番號 二分ノ三

發 第一兩遊機隊參謀長

ヒルマ方面軍今後ノ作戰方針極未定ノ議決定ヲ見タム者補給難難  
兵力不知等ニ依リ相續困難ノ見極ナリ一方面軍參謀長ヨリ第十三  
機務總隊司令官ニ以テ連絡一

機務兵團及安兵團方面ノ印支補給線ノ押ハ勇兵團ヲ北上シ聯絡モシ  
テ總々進之ヲ死守ス

同機務團ノ機用ニ依リ手運トナシ難難補給ハ兵兵團及補兵團ノ一部  
ヲ配シUAヲ死守ス

西一三六三三三三三六五〇 AA一六二三五〇一〇

第十信課

以「イムバ」方面の戦後多岐多

三本所情勢ニ應ジテ南西諸島「イムバ」河口及「マホ」地方  
 置ニ對シテ敵上陸企圖ニ對シテ陸軍警備隊ヲ要スルコトニ決定スル  
 予爾方面ノ赤銅船澳ハ甚ニ之ヲ懸念ノ要アリ 特ニ「イムバ」  
 河川流ニ「イムバ」河口ニ於テ水陸連絡ハ至急實施ヲ要スルニ當  
 水陸連絡ハ六〇%程度ノ陸軍ノ陸揚機具等ヲ、取得等速應提進  
 中ナリ

第十信

海軍



人々為長官  
海軍省

石川  
三勇

陸軍省

海軍省

第十  
探照

七二五

受領開始  
〇〇四二五

〇五二〇

電一〇二六六

作區・〇

北東方面部隊

大海軍一部・聯合艦隊各員・大津警備府

機密第二四二二五五六番電

北東方面部隊電令作第一一九號

第五艦隊司令長官、第五艦隊（第二十一戰隊第一水雷戰隊）及帶洋

丸等率聯合艦隊電令作第二五六號ニ依、作戦ニ従事スベシ

同日帶丸等北東方面部隊附屬ニ白鳩ヲ千鳥防衛部隊ニ編入ス。

通一三七四五 日二A(四二五五四)大漢放

海軍

0582

1247



# 親展

七二五

受信 〇〇二二五〇八

了 〇三〇八

電 一〇二六三

作 〇

聯合艦隊口

大海參一部・五一航戰

機密第二四二三一〇香電

第十二航空艦隊參謀長

當司令部八月八日頃千歲基地ニ轉進ノ豫定。

第十信

第一三七一七 第四〇三三三〇四 四〇三三三〇四 四〇三三三〇四 海軍

5.53



局長 局員

第十信線

七二五 受信二二二六 譯了〇〇一〇 電一〇〇七三一 一令・軍務  
人導・航本

東通

機密第二五一五三〇番電 二分ノ六二

第四艦隊參謀長

人專局長・航空本部長

大海機密第二四一九四七番電關聯

第四艦隊附屬航空部隊ノ改編ニ伴フ配員ニ關シ特ニ左ノ件考慮ヲ得

度 任務

一 優勢ナル敵航空兵力蠢動海面ニ於テ困難ナル修繕遂行スベキ機會  
大ナル當艦隊附屬航空部隊指揮官タル士官ハ兵衛的職見高ク且當直  
方面實情ニ詳シキ士官ヲ配員サレ度

通一四一九五・一四三〇〇 再二ムラ十一(五一二五四) 四通 海 軍

三、機長以上タル搭乗員ハ可及的當方面勤務ノ有經驗者ニシテ地理ニ詳  
 シクシテ作業ニ慣熟シアル者ヲ配員サレ度  
 三、基地員ハ整備通信内務醫務主計タルベキ准士官以上下士官兵ハ左  
 記特別事情考慮ノ上並通ノ定員ノ一・五倍以上配員サレ度  
 (イ)被空襲時被害極限ノ爲島水上基地以外ニニケ所程度ノ待避基地  
 ヲ常設ス  
 (ロ)輸送機(水陸共)ノ整備並ニ空輸關係ノ圓滑ヲ期シM Dニ第四艦  
 隊派遣基地ヲ常設ス  
 四、第九〇二海軍航空隊ヨリP O・P T E・P T Mニ派遣員トシテ下士  
 官兵二七〇名一電信二機關二看護一主計一分派シアルモ當分酌  
 容ノ見込ナク且將來共ニ此ノ種ノ派遣員ハ必要ト認ムルニ付第四艦  
 隊司令部附トシテ別ニ發令サレ度。

皇軍 陸軍 海軍



第十信

至急 現展

電話一九一〇〇〇 電一二六〇六 作

作

三島空軍司令部 大津第一師 五十鈴 五月

暗號軍機

機密第三〇一四五番

聯合艦隊司令部 八月 五〇鈴 初級 冬月 第七基地航空部隊 三編入ノ予定 中 右ノ基地航空兵力ノ使用ニ當リテ 基地移送ノ知照ナシガ 如キ場合空母格戦艦等ノ以テ攻撃ヲ指向セントスル全圖ニ基クモノ ナリ以テ 進行機密類ニ 發見則該等ニ 對シ 計畫準備シ 便カレ度

海軍 第一六八三三 第三八一九 四八番 海軍

566

傍見展

七三〇

三〇〇  
三三〇  
一三〇  
〇五五

三一三七五〇

作

聯合艦隊各戸

階號軍機

機密第三〇一六四八番

八月一日

八月一日附後發給命令合作第八四號(書類送付止依)軍隊部分

要七

要更主(主)一部隊指揮官主(兵)力(順)左(如)

機動部隊 第一機動艦隊長官 第三艦隊(大部)

第一機隊部隊 第二艦隊長官 第二艦隊第十部隊(第十六)

陸秋津洲

掛念 310845

通一六九三四

呂二A(B)中

海

軍

海軍

第十信課

第二遊撃部隊 第五艦隊長官 第五艦隊 第三航空戰隊 第四航空戰  
 隊（日向・伊勢） 第十一本艦戰隊 扶桑・山城 第二十一驅逐隊  
 內南洋方面部隊（日向） 第四艦隊長官 第四艦隊  
 第六遠征航空部隊 二▲ 長官 二▲  
 第七遠征航空部隊 三▲ 長官 三▲ 第二十二戰隊 第四陸瀕艇  
 隊（）

海軍

人 3. 局長 局員

王秀 第十信課

第十信課

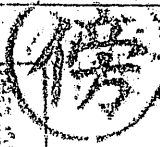
七三一 受領一〇九四〇五 丁一〇三五 電一二七九八 作 區

至 余 親

聯合艦隊各隊

共

符



機密第三一〇八四五番電

發 G P 副官

命令訂正

機密 G P 命令作第八四號

G P 第三段作戰兵力部署及 G P 機密第三〇一六四八番電中第一遊擊部隊ノ兵力ヨリ總十六戰隊ヲ削除シ南西方面部隊兵力ニ一六戰隊ヲ加フ

海軍 第一七二七七 第二一九三十一